

■ 農村振興、生活改善の指導者

金 為助

こん ためすけ

出身地 北秋田市（旧森吉町）

1888年（明治21年）～1984年（昭和59年）

兄の金作之助と共に農村青年の指導に当たる。生活改善を目指し、農民相談所、消費生活に関する組合活動に貢献。県会議員を経て米内沢町長。のち開拓地に入植、酪農を実践。



年譜

- 1888年 北秋田市（旧森吉町）に生まれる。
- 1903年 北秋田准教員準備場修了。
- 1909年 東北公論編集部勤務。国民新聞東北版通信員。
- 1914年 本城信用組合設立、専務理事。
- 1923年 農民ホールを設置。農民新生運動を起こす。
- 1926年 農民相談所農民館の開設に参加。幹事。
- 1931年 県会議員。米内沢町長。
- 1932年 秋田医療利用購買組合創立に参加。
- 1937年 秋田県販売購買組合専務理事。
- 1984年 北秋田市（旧合川町）で没。95歳。